

## 令和元年度第5回下野市総合計画審議会 会議録

審議会等名 令和元年度 下野市総合計画審議会  
日 時 令和2年1月22日(水) 午前10時00分から11時15分まで  
会 場 下野市役所 3階 303・304会議室  
出席者 中村祐司会長、相澤康男委員、貝木幸男委員、高橋芳市委員、三橋明美委員、伊澤健二委員、江田俊夫委員、佐藤司郎委員、川中子幹彦委員、川俣一由委員、諏訪守委員、小幡洋子委員、小池裕昭委員、熊田裕子委員、川田光一委員、佐間田香委員、木村保弘委員、近藤勘偉委員、新海将綱委員、前原保彦委員  
【欠席委員】大島雅之委員、山口貴明委員  
市側出席者 (事務局)小谷野総合政策部長、福田総合政策課長、篠崎主幹、相馬主査  
ランドブレイン株式会社(石村、伊藤)  
公開・非公開の別(  公開 ・  一部公開 ・  非公開 )  
傍聴者 1名  
報道機関 なし  
会議録作成年月日 令和2年2月17日

### 1 開会

(事務局) 令和元年度第5回下野市総合計画審議会を開会します。

### 2 あいさつ

(事務局) 中村会長よりごあいさつをお願いします。

(中村会長) おはようございます。本審議会も第5回目となり、令和元年度最後の総合計画審議会となります。今年の冬は暖冬であり、寒さによる体への負担が少なく個人的には大変助かっていますが、その一方で、中国武漢での新型コロナウイルスのニュースなど、私たちを取り巻く環境も常に変化しています。環境の変化や時代の流れに対応する形で、これまで検討してきた第二期総合戦略について、パブリックコメント及び議会への報告を行い、事務局でまとめていただきました。本日は、それらを踏まえて出来上がった第二期総合戦略について確認し、審議していきます。第二期という次のステージに向けてのステップにしていきたいと思っておりますので、本日もどうぞよろしく願いいたします。

### 3 議事

(事務局) 審議会条例第6条第1項に基づき、会長が議長となります。議事進行を中村会長、お願いします。

(中村会長) はじめに、会議の成立、会議録署名人の確認を行います。本日は出席委員が20名、欠席委員が2名であり、出席者が定数22名の過半数を超えているため審議会条例第6条第2項により会議は成立となります。また、本日の会議録署名人は、慣例に従い名簿順に江田委員、川中子委員にお願いします。続いて、会議の公開についてお諮りします。本日は会議の傍聴希望の方が1名いらっしゃいます。傍聴希望の方にはすでに入室いただいておりますが、本日の会議を公開することとしてよろしいでしょうか。

(委員) <「異議なし」の声>

(中村会長) ありがとうございます。それでは早速、議題に入ります。はじめに、資料の確認を事務局よりお願いします。

(事務局) [配付資料の確認]

事前に郵送させていただいた資料は、会議次第、資料1「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」、資料2「議員全員協議会での意見に対する対応」、資料3「第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に関するパブリックコメントの結果について」及び資料4「下野市人口ビジョン(案)」の5点となります。また、本日机上には「席次表」、「FMゆうがおマガジン」、「地元栃木の案内」及び「第4回ツール・ド・とちぎの案内」を配布させていただきました。

(1) 第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について〈資料1・資料2・資料3〉

(中村会長) それでは議題(1)に入ります。資料に基づき事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) 資料1、資料2、資料3に基づき説明いたします。

◆第二期下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について〈資料1〉

○第4回総合計画審議会です承をいただいた第二期総合戦略(素案)をもとにパブリックコメント及び議会への報告を行った。これらにおいて出された意見に対し、関係各課と協議し、その結果を踏まえて一部修正したものが資料1となる。修正した箇所は赤字となっている。

◆議員全員協議会で出された意見について〈資料2〉

○数値目標「下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合」(資料1の22頁)に関して、目標値が低いのではないかとの意見が出された。この点については庁内でも議論があり、基準値が96.3%とすでに高い率であることからこれを維持することを目標値として設定していた。再度検討し、平成29年度の実績が96.9%であったこと、また、乳幼児健診の内容の見直し等を図ることで数値を上げていくことを目指すこととし、目標値を97%に上方修正した。

○KPI「自主防災組織設置数」(資料1の33頁)における目標値の15組織というのは少な

いのではないかと意見が出されたが、この点については本審議会でもご意見をいただき、庁内でも幾度となく検討をしてきたところであり、資料記載の理由により修正はしないこととした。

○介護者支援施策の充実、医療的なケアの必要な子の介護や障がい者（児）の介護支援の施策について総合戦略に盛り込むべきだとの意見が出された。前者については、基本目標④の「(ア)いきいき暮らせる健康づくり・福祉づくり」内の「②高齢者が元気で暮らせる体制づくり」（資料1の28頁）の中に、厚生労働省より出されている「家族介護者支援マニュアル」に記載されている内容を追記した。後者については、同じく「③障がい者（児）とともに生きる環境づくり」（資料1の29頁）に、第5期下野市障がい者福祉計画に基づく本市の最新の障がい者福祉行政の方針を反映し、修正を行った。

○KPI「デマンドバスの利用者数」（資料1の33頁）を、今後策定される「地域公共交通網形成計画」を見据え、内容はデマンドバスの利用者数のままでKPIの項目名だけを「地域公共交通の利用者数」に変更できないかとの意見が出された。地域公共交通では、デマンドバスだけではなく民間事業者が運用する鉄道、路面バス、タクシー等も含まれてしまい、内容と異なってしまうため、修正はしないこととした。また今後、地域公共交通網形成計画を策定した際に、必要に応じ、総合戦略の見直しも検討することとしたい。

○資料1の33頁に記載の甲塚古墳出土に関する記述については、指摘のとおり誤りがあったため、資料のとおり修正させていただく。

◆パブリックコメントの結果について〈資料3〉

○令和元年12月9日から27日までの期間でパブリックコメントを実施し、1名の方から2件の意見が出された。

○一点目の医療福祉分野、自治医科大学・同附属病院との連携強化に関する意見については、本市としても医療福祉分野における産業誘致や雇用の創出等に向けて積極的に取り組むこととしていることから、基本目標①の中において関連する各記述をしているところである。したがって、修正は行わないこととした。

○二点目の学校運営協議会及びコミュニティスクールに関しては、資料のとおりすでに記載されている具体的な施策等に含まれているものと考えており、追記や修正は行わないが、各施策の推進にあたり貴重なご意見として参考とする。

（中村会長） 議会からの複数のご指摘やパブリックコメントでの建設的なご意見をいただきました。議会や市民との協働が図られたのではないのでしょうか。前回の本審議会で審議した総合戦略の素案がブラッシュアップされ、さらに良くなったのではないかと思います。委員の皆様、ご意見やご質問はいかがでしょうか。

（貝木委員） 自主防災組織については、本審議会や議員全員協議会でも意見を述べさせていただきましたが、現在8組織であるものを5年間で7組織増やそうという

目標は消極的ではないでしょうか。行政としては達成度を上げていくことが求められていることは承知していますが、30～50組織を目標にしてはいかがでしょうか。これが5年後に結果として20組織だったとしても、それは決して悪いことではありません。昨年の台風の被害も考えると、もっと市としても積極的に取り組むべきだと考えます。市内に150近い自治会があって、7組織というのは少ないと思います。

(事務局) これまでも自主防災組織についてはご意見をいただいているところであります。自治会という組織がそのまま自主防災組織の役割を担うのではなく、自治会とは別に自主防災組織を設立する場合には、設立に向けた内部の合意形成の上で、自主防災組織のための新たに会長等の役員の選任をするなどし、長いスパンで活動していただくことが必要なことから、組織数が伸び悩んでいる状況です。総合戦略については毎年度進捗管理を行い、改訂も行っていることから、設置状況も見ながら目標値については、今後も検討していければと考えております。

(前原委員) この点に関して資料2の理由の欄には、課題として自治会内における合意形成が課題であるとありますが、実際のところ自治会の中における自主防災組織への意識はどのような状況なのでしょう。自治会長として分かれば川俣委員に教えていただきたいと思えます。

(川俣委員) 石橋支部では10年以上務めている自治会長が多く、栄町のような大きな地区では複数の自治会で自主防災組織を組織しているところもあります。南河内支部や国分寺支部では、1年もしくは2年で自治会長や役員が入れ替わる自治会が多く、自主防災組織の設立に向けた話し合いが進んでいかないという話を聞いています。話を進めていくためにも、自治会長は4～5年続けて担っていただくことも必要かもしれません。また、いくつかの自治会でまとめて自主防災組織を作るということになれば、仮に自治会長が変わっても自主防災組織の会長はある程度の期間、続けて会長を担っていただける可能性があり、設立に向けて前向きに動いていく可能性があるのではないかと個人的には感じています。自治会長の総会などでも検討していければと思えます。

(中村会長) 自治会の抱える課題が、このように自主防災組織という防災の側面から見えてきており、背景にある課題の解決も必要なのだと考えさせられます。

(熊田委員) 本日が最終ですので細かな点で恐縮ですが、文言に関して二点、質問させていただきます。一点目は、資料1の29頁にある「③障がい者（児）とともに生きる環境づくり」の7行目に記載のある「保育所や認定こども園」です。資料2の3頁の回答欄では「保育所（園）やこども園」となっており、おそらく、資料1の記載が正しいのではないかと思います。どちらが正しい表記なのか確認させてください。二点目は、資料1の33頁、「④文化芸術と文

化遺産による豊かな生活環境づくり」の6行目についてです。「・・・修復作業を進め展示収蔵施設として、しもつけ風土記の丘・・・」は、「・・・修復作業を進め、展示収蔵施設としてしもつけ風土記の丘・・・」ではないでしょうか。読点の位置で文章の意味合いが変わってしまうので、事務局で意図している内容と記載が合致しているのか確認いただければと思います。

(事務局) 一点目については、保育所が正し表記となります。資料2に関しては、市内の保育所が「〇〇保育園」という名称であることから、回答を作成した担当課において「保育所(園)」と記載したものと思われます。また、こども園は「認定こども園」が正しい表記となりますので、資料1の記載のとおりとさせていただきます。二点目については、担当課に内容を再度確認させていただき、必要であれば修正させていただきます。

(中村会長) 大変丁寧に資料を読み込んでいただき、ありがとうございます。二点目の文化遺産の記述に関しては、確認をお願いします。

(木村委員) 先ほどの自主防災組織の話に戻ってしまいますが、自主防災組織の考え方について一言、意見を述べさせていただきます。自治会は地域の課題に対して包括的に活動する組織です。自治会と別個の組織として自主防災組織を設立すると、日々の自治会の活動との連携や活動が活かせるのか疑問があります。自治会の中に自主防災専門部会のような、内在する位置づけにすればよいのではないのでしょうか。また、未設置の全ての自治会に助言や支援を行う前に、まずはパイロットモデル事業的にいくつかの自治会に対して重点的に取り組んで設置していくことで、他の自治会の参考にしていただく方法もよいのではないかと思います。

(中村会長) 設置数を増やしていくためのご意見として参考にさせていただきます。その他にご意見がないようでしたら、皆様の了承をいただきたいと思います。文化遺産の記述に関しての微修正は事務局において確認をさせていただくとして、本日示された第二期総合戦略(案)を本審議会として了承することとしてよろしいでしょうか。

(委員) <「異議なし」の声>

(中村会長) ありがとうございます。本日示された第二期総合戦略(案)は了承されました。

(2) 下野市人口ビジョン(案)について

(中村会長) 続いて、議題(2)下野市人口ビジョン(案)についてです。事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料4をご覧ください。人口ビジョンの改訂については、第3回総合計画議会においてすでに委員の皆様にご説明させていただいたところです。内容については、その際に説明したものと今回お配りした資料4とで変更はありませんが、第二期総合戦略とあわせて人口ビジョンについても改めて本審議会の

了承をいただければと思います。

(中村会長) それでは、人口ビジョン（案）について、本審議会として了承してよろしいでしょうか。

(委員) <「異議なし」の声>

(中村会長) ありがとうございます。それでは、人口ビジョンについても、この内容で改訂をお願いいたします。

### (3) その他

(中村会長) 最後に、議題（3）その他になります。事務局から何かありますか。

(事務局) 本日、お配りした資料について簡単にご紹介させていただきます。「FMゆうがお」は昨年12月20日に開局し、毎日14時間の生放送で情報をお届けしています。本日配布したマガジンは創刊号となります。スマートフォンにアプリをダウンロードすることで、全国どこでも聞くことができますので、是非お聞きください。続いて、「出身者限定コミュニティ 地元栃木」についてですが、こちらはUターン促進のために県が取り組む事業の一つで、栃木県出身の若者のためのコミュニティです。今後、LINEを使った情報発信を進めていきます。最後に「ツール・ド・とちぎ」です。本大会は今回で第4回を迎える国際自転車レースで、3月20日から22日にかけて開催されます。22日のラインレースでは下野市内もコースとなっており、一部交通規制が行われます。プロ選手の自転車レースを間近で見ることのできる貴重な機会ですので、皆様で観戦いただければと思います。

(中村会長) 委員の皆様から、何かございますか。

(小池委員) 自治医科大学事務局長の小池です。今年度最後の審議会ということで、お礼とお願いを申し上げたいと思います。自治医科大学に対しまして、様々なご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。自治医科大学は令和4年に創立50周年を迎えます。この間、医学部は4,400名弱、看護学部は約1,460名の卒業生を送り出すことができました。特に医学部については、離島をはじめ山間地域等、全国津々浦々で地域医療に取り組んでおります。一期生も70歳くらいが中心ではありますが、現役で頑張っています。卒業生にとっては第二のふるさとである下野市において、このように発展を続けていくことができたことも、卒業生にとってもありがたいことだと思っております。下野市の人口ビジョンについても記載のとおり、地方では人口減少が続きますが、これは地域医療においても同様で、さらに厳しい状況となっており、昨年9月に厚生労働省から公的医療機関の再編に関する通知が公表されました。病院の統合や病床の減少する中においても、人口が減少する地域にも医師を確保していく必要があります。自治医科大学に向けられた期待

をしっかりと果たしていきたいと考えています。今後も引き続き、地域の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

(中村会長) 下野市の総合戦略、総合計画を推進していくにあたって、自治医科大学の存在は重要であると思います。お話しいただき、ありがとうございました。私からも一点、確認させていただきます。本審議会も今年度は本日が最終回となりますが、来年度における本審議会の予定などを簡単に教えていただければと思います。

(事務局) 今年度は5回の会議において、委員の皆様には多くの貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。総合計画の前期基本計画が令和2年度をもって終了となるため、来年度は後期基本計画の策定を予定しています。今年度においては、本審議会でも速報値を報告させていただいた市民意識調査などを実施し、策定に向けた準備作業を進めているところですが、来年度は本格的に策定作業に入ります。後期基本計画の策定に向けて5回から6回の会議を、また、総合戦略の進捗管理として2回程度の会議を開催したいと考えております。現時点では、スケジュールに関しては未定ですが、委員の皆様にも早めにお知らせできるように調整していきたいと思っております。今年度に引き続き、会議の回数が増え、委員の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(中村会長) 今年度の第二期総合戦略に続いて、来年度は総合計画の後期基本計画を策定していきます。また、現行の総合戦略が3月末をもって5年間の計画期間を終えるため、最終的な総括などの進捗管理も行います。市の最上位計画である総合計画は、今後の下野市の方向性について考えるととても重要なものであり、大変ではありますが、その分やりがいもあるかと思っております。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。本日の議事は以上となります。委員の皆様、ありがとうございました。

#### 4 閉会

(事務局) 委員の皆様、そして中村会長ありがとうございました。以上をもちまして令和元年度第5回下野市総合計画審議会を閉会します。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長（中村祐司）

-----

署名委員（江田俊夫）

-----

署名委員（川中子幹彦）

-----